

感染症週報〔市内週報 平成25年第28週〕

感染症発生動向調査

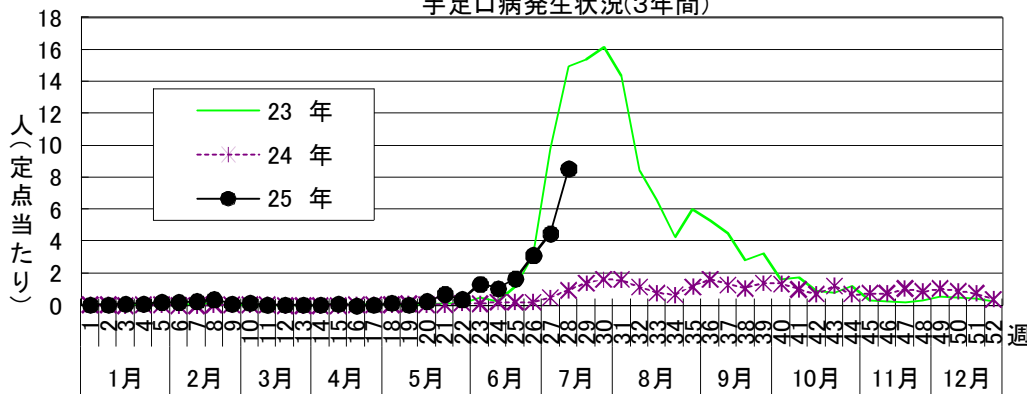
平成25年7月17日

平成25年第28週感染症発生状況【川崎市内】

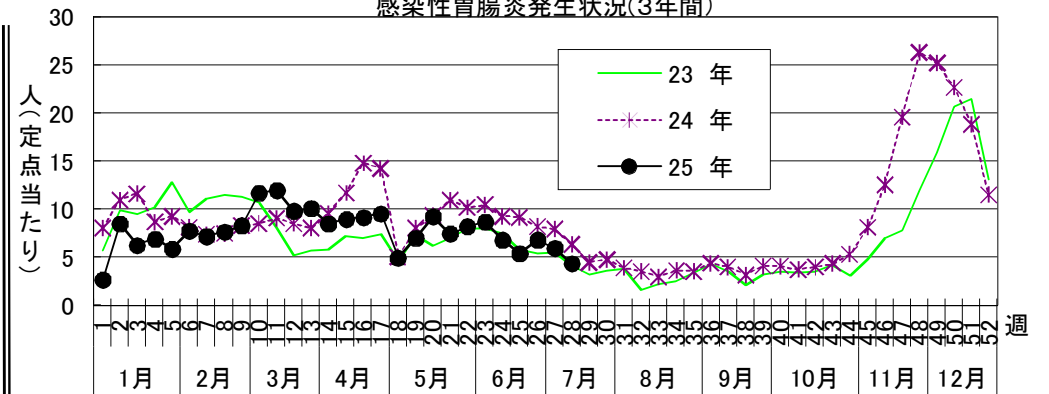
平成25年7月8日～7月14日

5類感染症(定点把握疾患)等	全数把握疾患	届 出	累計(平成25年第1週以降)
<p>第28週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)手足口病 2)感染性胃腸炎 3)ヘルパンギーナ でした。</p> <p>手足口病は定点当たり8.55人と前週(4.52)より患者報告数は大きく増加し、流行発生警報基準値(定点当たり5人)を超え、例年より高いレベルで推移しています。</p> <p>感染性胃腸炎は定点当たり4.36人と前週(5.97)より患者報告数は減少し、例年よりやや低いレベルで推移しています。</p> <p>ヘルパンギーナは定点当たり3.79人と前週(2.12)より患者報告数は増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。</p>	1類感染症	なし	なし
	2類感染症	結核 6件	結核 174件
	3類感染症	なし	腸管出血性大腸菌感染症(O157) 8件 パラチフス 2件
	4類感染症	なし	A型肝炎 4件、チクングニア熱 1件、デング熱 1件 マラリア 1件(三日熱)、レジオネラ症 4件(肺炎型)
	5類感染症	ジアルジア症 1件 風しん 7件(検査診断例7件)	アーバ赤痢 13件、ウイルス性肝炎 7件(B型6件、C型1件) 急性脳炎 4件、クロイツフェルト・ヤコブ病 1件(孤発性) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 6件 後天性免疫不全症候群 8件、ジアルジア症 1件、梅毒 12件 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件、侵襲性肺炎球菌感染症 11件 風しん 440件(臨床診断例103件、検査診断例337件) 麻しん 4件(臨床診断例2件、修飾麻しん1件、検査診断例1件) 髄膜炎菌性髄膜炎 1件

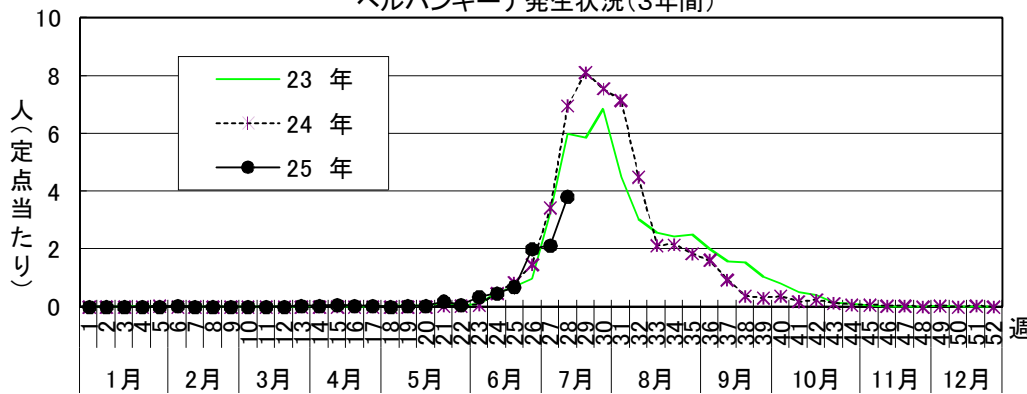
手足口病発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



ヘルパンギーナ発生状況(3年間)



川崎市における月別風しん届出数(平成25年7月14日診断分まで集計)

